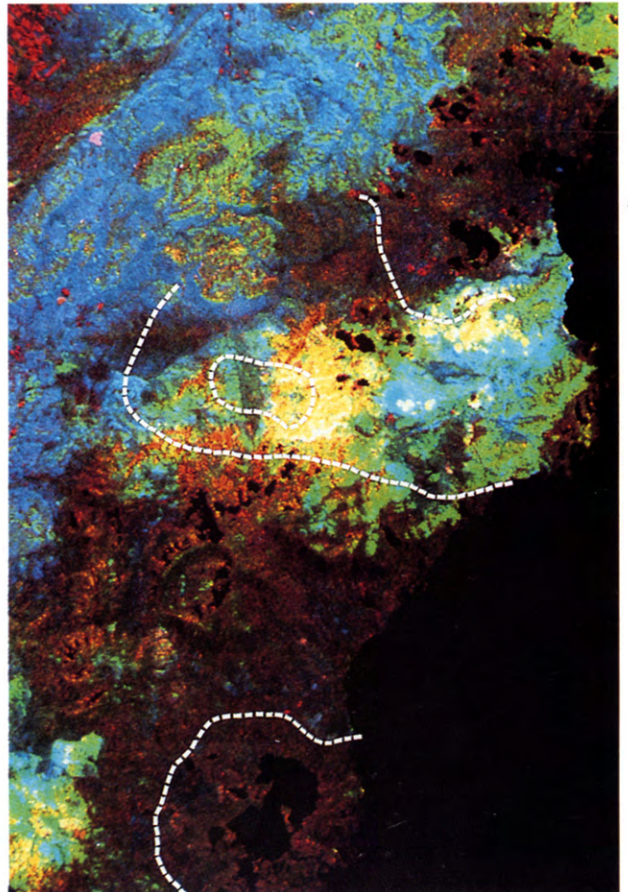




## スペインの浅熱水性金鉱床

ヨーロッパの浅熱水性金鉱床は、新第三紀火山岩類の分布する地中海地域にのみ産する。スペイン南東端のCabo de Gata地域には、中新世のAu-Ag-Pb-Znの鉱化が見られ、カルデラとの成因関係が最近詳しく研究された。このCabo de Gata地域で最も重要なRodalquilar鉱床は、南九州の南薩型によく似た高酸化硫黄種型金鉱床で、金の推定埋蔵量25トンは、高玉や大口鉱床の量に匹敵する。  
 [鉱物資源部 A. Arribas(STA招聘研究者)・佐藤興平]

1. (上)Cabo de Gata地域のLos Frailesカルデラ(写真2南部の白線、鉱化は伴わない)。中央の暗色の山はポストカルデラの安山岩類、手前の平坦部はカルデラを埋めるデイサイト。右は地中海。
2. (右)Cabo de Gata地域のランドサットTM画像(USGSのM. Podwysockiによる、左右12km)。白線は、南がLos Frailes、北がRodalquilar(大)およびLomilla(小)カルデラの縁を示す。白-黄色の部分は粘土化変質帯。右の黒色部は地中海。

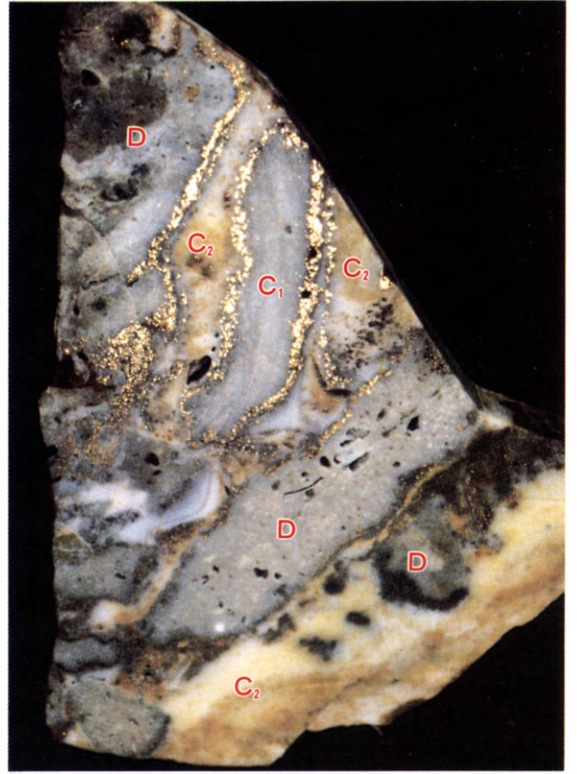




3. Lomillaカルデラの東部. 中央左はRodalquilar金鉱床の露天採掘場.



4. Rodalquilar鉱床の含金カルセドニー脈(Au15g/t, 幅15cm). 母岩は珪化変質を受けたデイサイト.



5. 熱水角礫鉱脈の高品位鉱石(Au 1kg/t以上). 金は変質母岩の岩片(D)の周りに calaverite(AuTe<sub>2</sub>)として沈澱. C<sub>1</sub>は角礫化前に沈澱した縞状カルセドニー, C<sub>2</sub>は角礫の間を埋める末期のカルセドニー. 黄金色は自然金で, 二次富化作用で生じたもの. 写真の左右5cm.